

I. 従来+αの工夫による見える化

◇現場への know-why『なぜ、そうするのか?』の表示



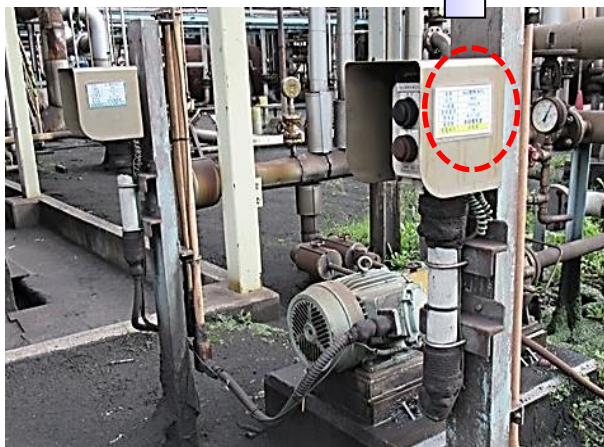
注意点を現場に表示する際
合わせて『know-why』も表示。
注意の目的を明確する狙い



I. 従来+αの工夫による見える化

◇機器仕様の見える化

スイッチスタンドにポンプの仕様を
見える化



◇電源盤 初期消火の見える化



低電圧電源盤 (100V、200V) は
初期消火可能の為、**シール**で表示

※高電圧電源盤(≥400V)は電源遮断し、消火

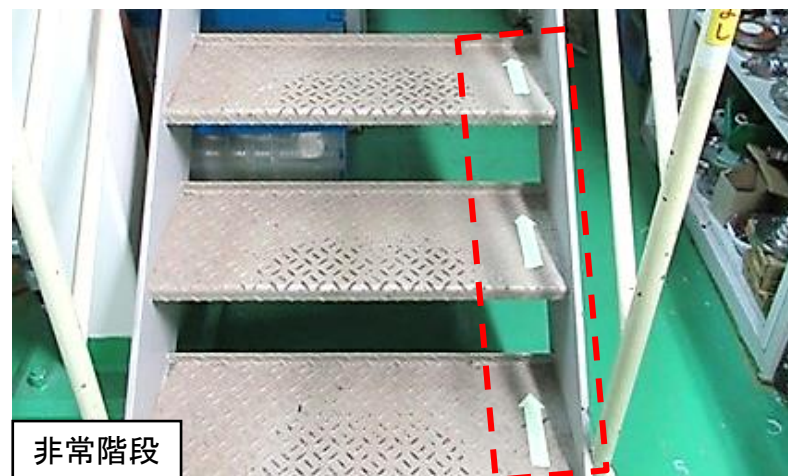
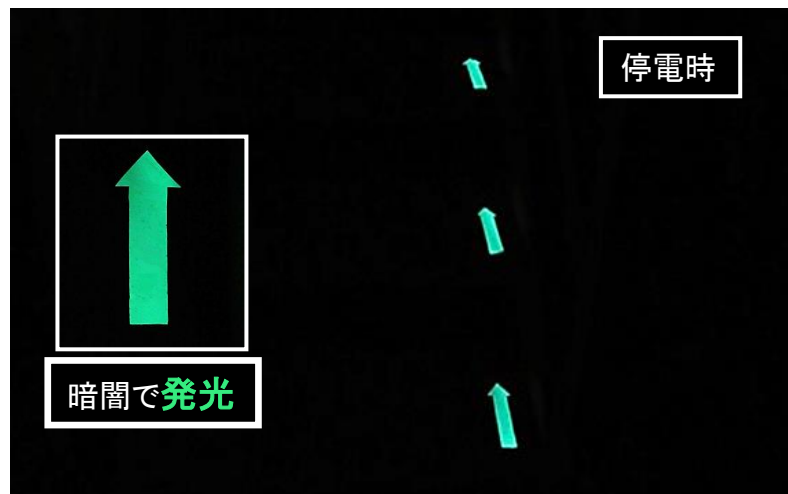
I. 従来+αの工夫による見える化

◇サーモテープ活用 トラッキングによる発熱感知



『サーモテープ』により、トラッキング早期発見！

◇停電時、避難ルートに見える化



避難ルートに『蓄光テープ』を貼付。

Ⅱ. 見える化活動の見える化

◇見える化事例集による活動の伝承



244事例 掲載



63事例 掲載



74事例 掲載

各職場の見える化事例を集約。
優良事例の水平展開や新人教育に活用